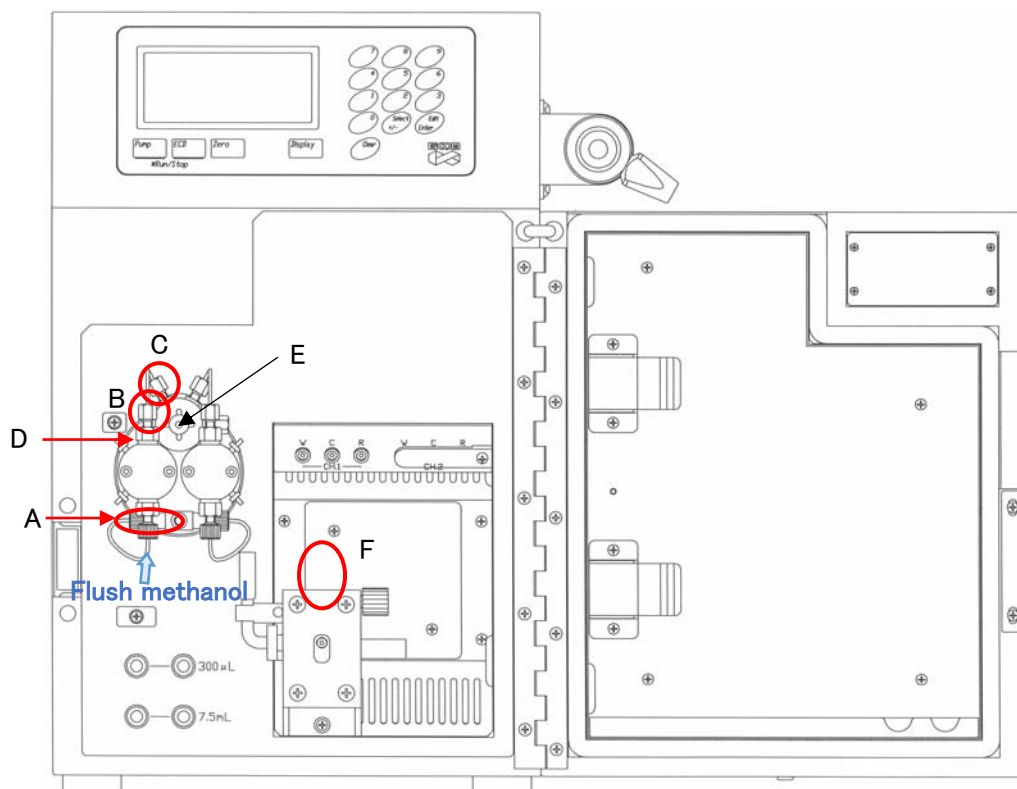
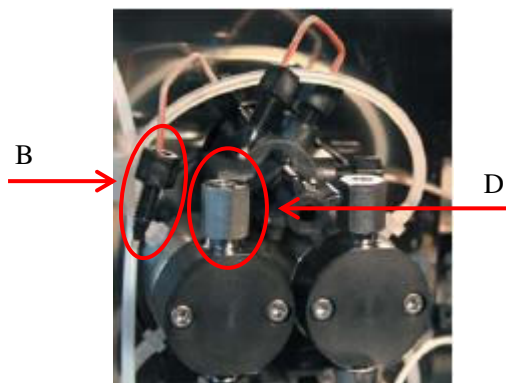


位置説明図



チェックバルブ ボール固着、動作不調の場合 対処方法

- 移動相ではなくメタノールのほうが行いやすいですので、ミリ Q 水→メタノールの順に置換してください。
- スパナを使って(D)から(B)の Hexafit (六角形の黒い樹脂部品)を半時計回りに回して外します。(手回し可能なネジの場合は工具を使わず手で開け閉めしてください。)
- (B)が外れている状態でボトルを高く持ち上げます。この落差を利用して左右の(D)の上部より液が出てくるようであれば、(B)を繋ぎます。再度ドレインバルブ(E)からディスプレイリングを使って数 mL ほどメタノールを引き、ポンプを ON にしてエラーが出ないことを確認します。エラーが出てもドレインバルブ(E)より液を引いて再度確認することを何度か繰り返してみてください。

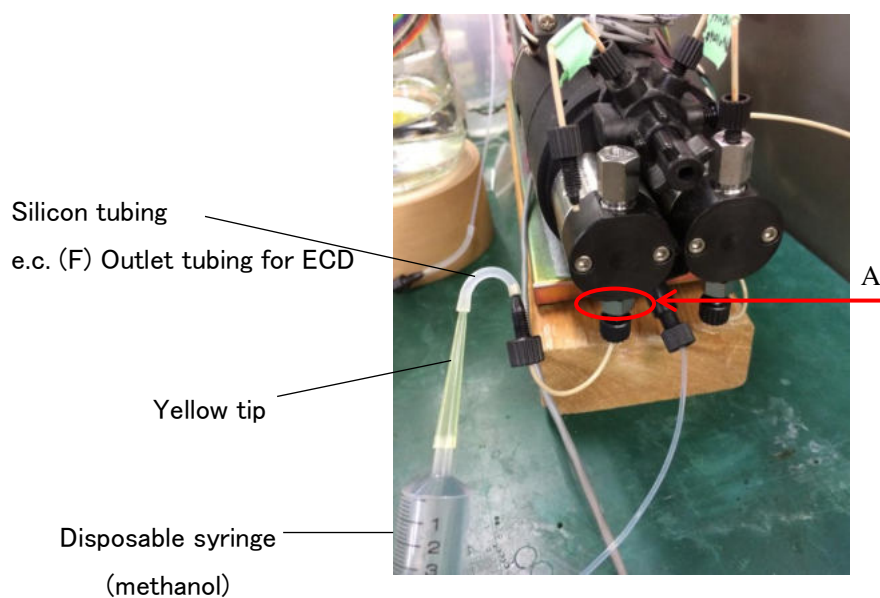


- 落差で(D)の上部より液が出てこないようであれば、水平にジョイントされている(A)のコネクターを外し、なんとかディスポシリンジが繋がる状況を作って(プレカラム充填セットの吸引アダプターを用いても可)、下図のように下からメタノールをフラッシュ(※)して下さい。その後再度接続しなおして、ポンプをONにして確認します。エラーが出てでもドレインバルブ(E)より液を引いて再度確認することを何度か繰り返してみてください。

下からメタノールをフラッシュする作業も何度か繰り返してみてください。

※ メタノールでフラッシュする際は(D)の上部より液が勢いよく出てくる場合がありますので、目や手にかからないように気を付けてください。

接続例



プレカラム充填セットの吸引アダプター
(※ 写真はプレカラム接続状態)